

平成28年度学校評価 (A:そう思う B:まあそう思う C:あまりそう思わない D:思わない)		肯定的評価の割合 (ABCD 4段階中、ABの割合)				自己評価		学校関係者評価	
		教職員 (48人)	生徒 (636人)	保護者 (533人)	生徒 保護者計 (1,169人)	今年度 H28	参考 H27	今年度 H28	参考 H27
1	学校長の経営理念のもと、共通の認識・理解を持ち、さらなる特色づくりを推進している。	85.4%	56.4%	68.5%	61.9%	A	A	B	A
2	地域の人々や、中学生に本校の取組み(特色)を積極的にアピールしている。	89.6%	64.2%	58.8%	61.7%	A	A	B	B
3	習熟度別授業・分割授業等、きめ細かい指導を継続することで、基礎・基本の定着を図っている。	93.8%	56.1%	68.7%	61.8%	A	A	B	A
4	「シラバス」に沿った授業の展開と、分かりやすい授業の展開に努めている。	81.3%	68.7%	68.9%	68.8%	A	A	B	A
5	学年(担任)とより密接に連携を深めながら、生徒指導上の問題解決に努めている。	95.8%	54.2%	60.3%	57.0%	A	A	B	B
6	保護者や関係機関と連携し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。	93.8%	60.3%	54.4%	57.6%	A	A	B	B
7	生徒・保護者に適切な資料提供等を行い、早い時期から意識を高める取組みを行っている。	91.7%	72.7%	72.6%	72.7%	A	A	B	A
8	就職希望者への適切な指導を行うとともに、積極的に求人確保に努めている。	97.9%	78.1%	74.4%	76.4%	A	A	A	A
9	生徒会活動・部活動等、課外活動の活性化に努めている。	91.7%	76.7%	80.3%	78.3%	A	A	A	A
10	HR活動を中心に、各学年に応じた、生徒が自主的に取り組める学校行事の充実努めている。	79.2%	71.5%	76.9%	74.0%	A	A	B	A
11	「図書館だより」の発行や、図書館企画・特別展示等の取組みによって、学校図書館の活用を進める。	93.8%	82.0%	72.9%	77.9%	A	A	A	A
12	教科(10分間読書等)・科目・学校行事との連携により、読書意欲の喚起に努めている。	89.6%	83.0%	57.7%	71.5%	A	B	B	B
13	生徒の安全管理と疾病予防に努めるとともに、事故、ケガ、病気の発生時に適切に対処している。	95.8%	64.8%	82.9%	73.1%	A	A	B	A
14	教育相談等を通じて、真摯に個々の生徒の課題に対応している。	93.8%	50.9%	77.2%	63.0%	A	A	B	A
15	お互いを理解し、豊かな人間関係の結べる生き生きとした仲間づくりに努めている。	79.2%	62.3%	73.9%	67.6%	A	A	B	A
16	教職員の現地研修等を積極的に行い、地域に根ざした人権研修を行っている。	75.0%	86.0%	73.7%	80.4%	A	A	A	A
17	ゴミの徹底した分別に全校で取り組み、省資源・リサイクルの重要性について指導している。	87.5%	88.2%	79.9%	84.5%	A	A	A	A
18	環境問題を教科学習の中に取り入れて教えている。	47.9%	59.7%	63.6%	61.4%	C	B	B	B
19	校内コンピューターネットワーク整備により、情報管理意識の高揚に努めている。	81.3%	68.1%	68.3%	68.2%	A	A	B	A
20	文書管理を徹底するとともに、「報告」「連絡」「相談」に努めている。	91.7%	62.6%	72.5%	67.1%	A	A	B	A
21	PTAと連携を深め、各種活動を活性化している。	77.1%	52.1%	63.2%	57.1%	A	A	B	B
22	各種研修会や公開授業等、学校独自の取組みにより開かれた学校づくりに努めている。	83.3%	63.9%	69.7%	66.5%	A	A	B	A

今年度、県の監査委員会からの意見を受けて、年間を通して重点評価項目や各アンケートの項目の見直し、学校関係者の評価方法の見直しを行いながら学校評価を進めてきました。また、学校評議員からの意見を踏まえて、生徒・保護者のアンケート結果を合算し、そのA、B評価の割合をもとに学校関係者評価を実施する形で、評価の規準を変更しました。

その結果、学校関係者評価では上の表のとおり、「A」が大幅に減って「B」が増えました。今までも生徒・保護者からの意見を真摯に受け止めながら学校経営の改善を意識してきたところですが、今回、この結果を受けて、以下の5項目を中心に、さらに改善を進めます。

- ① 研究主任のもと、「校内研究授業週間」の取組みをもとに、各教科で授業改善のための研究会(教科会議)を計画的に開催する。
- ② 「いじめ対策委員会」を定期的で開催する中で、いじめの事前防止への取組みや、人間関係づくりについての取組みを推進する方策を企画する。
- ③ 進路に関する情報を、生徒・保護者へより早い段階から発信するとともに、本校として3年間のキャリア教育の系統性を確立し、生徒・保護者や外部に発信する。
- ④ 教育相談や保健・安全について、本校の取組み内容や手続きを生徒・保護者にわかりやすく伝えるとともに、より活用しやすい環境づくりを進める。
- ⑤ 「環境教育」について、理科・社会などすでに取組み始めている教科から他教科への広がりを工夫する。また、重点評価項目としての妥当性について検討する。